

断面 4 P_{DIII}

乾性弱ポドゾル化土壤

母材料：石英斑岩に火山灰を混ず，残積

採取地：秋田県北秋田郡上小阿仁村 奥山国有林
上小阿仁事業区 63 林班を小班

海拔高：500 m

地 形：尾根

方 位：N 45° E

傾 斜：30°

林 相：スギ天然林（スギ・ブナ・リョウブ・ア
クシバ）

断面記載：

F 2~5 cm スギその他の破碎腐葉密
に堆積，マット状，細根多く網状を呈す。

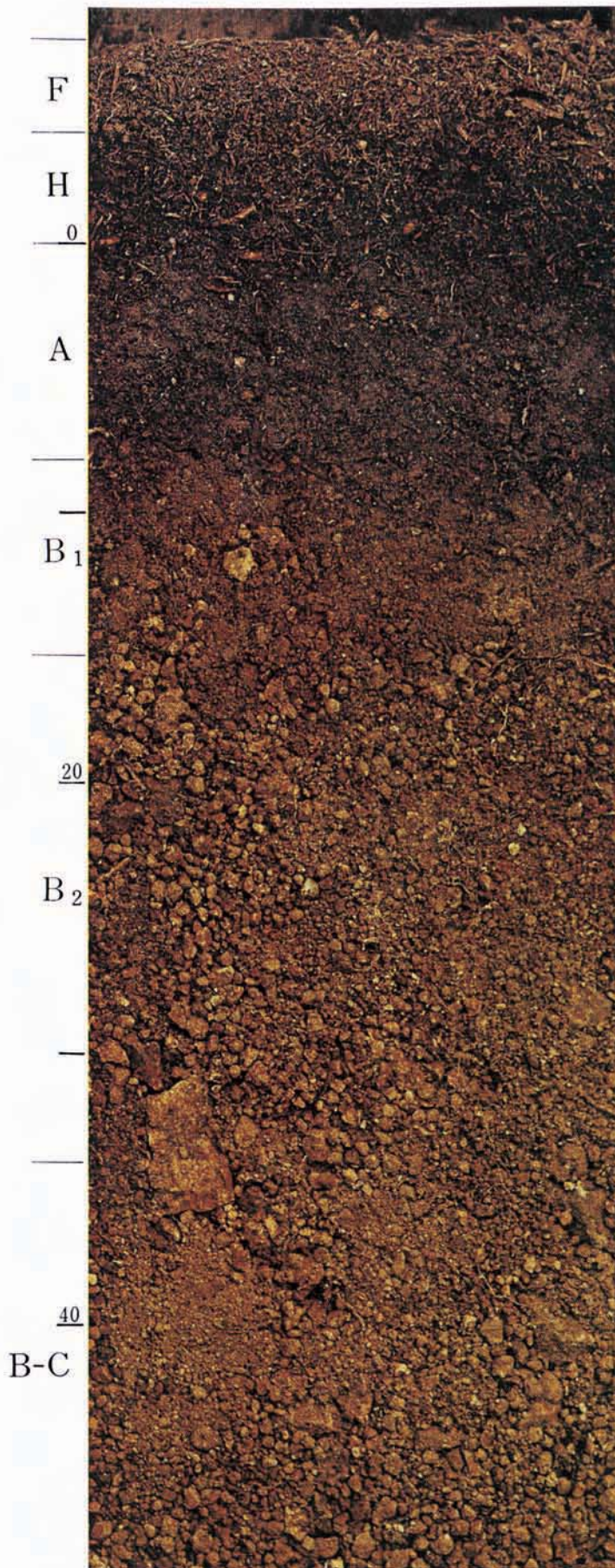
H 4~5 cm 黒褐色 (5 YR ²/₁)，粒状
構造，細・中根多く網状を呈す。

A 8~10 cm 極暗赤褐色 (2.5 YR ²/₂)
の溶脱層，腐植に富む，細礫あり，壤
土，粒状および塊状構造，軟，湿，細根
多し，次層との境界は明。

B₁ 7~10 cm 暗赤褐色 (2.5 YR ³/₄) の
集積層，腐植を含む，細・小礫あり。砂
質壤土，軟，潤，細根あり，次層との境
界は判。

B₂ 18~20 cm 明褐色 (5 YR ⁴/₆) の集積
層，腐植を含む，細・小礫に富む，砂質
壤土，軟，潤，細根あり，次層へ漸変。

B-C 15 cm+ にぶい橙色 (7.5 YR ⁶/₄)，
腐植に乏し，細・小礫に富み，中礫を含
む，砂土，軟，潤。



採取年月日：1965年 7 月 29 日

この断面は尾根筋のスギ天然林で生成された P_{DM} 型土壌である。灰白色の溶脱斑は認められないが、鉄錆色の集積層が厚く発達している。一般に砂質なものや、この断面のように細礫質なものでは、典型的な鉄錆色を呈した集積層が厚く発達しやすい。

P_{DM} 型土壌は温帯から亜高山帯にかけ、乾きやすい緩やかな尾根筋や、凸形斜面上部でよく見られる。地形的にはちょうど B_B 型土壌の生成される場所に似ている。したがって B_B 型土壌の高冷地型と呼ぶことができる。

瘠せた酸性土壌であるが、ヒノキあるいはカラマツの植栽が可能である。しかし、あまり収穫は期待できない。土層の浅い場合は天然更新が無難である。



採取地の地形

層 位	C %	N %	C/N	pH (1:2.5)	置換酸度 Y ₁	CEC m.e	置 換 性			Ca/CEC	Mg/CEC	K/CEC
							Ca	Mg	K			
H	39.8	1.92	21	4.1	17.7	119.38	15.86	7.40	1.26	13.29	6.20	1.06
A	9.9	0.34	29	3.7	51.8	33.40	0.46	1.00	0.30	1.38	3.00	0.90
B ₁	4.4	0.17	26	4.4	38.0	34.13	0.17	0.37	0.15	0.50	1.08	0.44
B ₂	2.6	0.09	29	4.7	13.4	18.39	0.11	0.13	0.09	0.60	0.71	0.47

層 位	土壌中の細粒 (0.2~0.1 mm) の鉱物 100 分比						土 壌 中 の 粘 土 鉱 物			
	石 英	正長石	角閃石	火 山 ガラス	火山砂	輝 石	アロフェン	ギブサイト	加水ハロイサイト ・ハロイサイト	14~15 Å 鉱 物
H	27.9	47.6	4.7	9.3	3.5	7.0	+		×	×
A	17.5	39.9	1.9	30.0	3.2	7.5	+	+	+	
B ₁	19.9	57.3	2.9	14.0	1.5	4.4	+	+++	+	×
B ₂	31.2	53.2	10.4	3.9		1.3	+	++++	+	×
B-C	44.1	51.3	1.8	1.9		0.9	++	++++ ++	×	